



第 15 回文福総会記念講演会

テーマ 介助者〈介護者〉の夜明けは近いか遠いか？

～障害者の自立＝介助者〈介護者〉の確保・ひろがり・定着～

講師 渡邊 琢氏

日時 2017年6月11日〈日〉 13時15分～

場所 サンシップとやま 701号室

講師プロフィール 渡邊琢（わたなべ・たく）



介護コーディネーター

日本自立生活センター事務局員、NPO法人日本自立生活センター
自立支援事業所介護コーディネーター、ピープルファースト京都支
援者。著書に『介助者たちは、どう生きていくのか—障害者の地域
自立生活と介助という営み』（生活書院）など。

文福總會のご案内

私達は年1回の總會を来る6月11日にサンシップとやまの701号室で行います。總會は午前と午後にわかれていて午前中、障害者部会や学習部会、レクリエーション部会の部会や居宅介護事業などの各事業体や活動体からのこれまで1年間の経過報告とこれからの活動方針の報告や提案があり、文福全体の会計報告やこれからの見通しも含めて質疑応答を会場の皆さんに行います。

そして午後からは總會企画として、渡邊琢氏を京都からお招きして、介助者（介護者）の夜明けは近いのか遠いのか？～障害者の自立＝介助者（介護者）確保・ひろがり・定着～という題名で講演やそれに対する質疑応答も集まった皆さんと行いたいと思っています。この渡邊琢さんは15年以上NPO法人日本自立生活センター自立支援営業所で介助を行ったり、またピープルファースト京都支援者として知的障害者が地域で自立生活をしたり社会参加を進められている方で、最近の著書として、「介助者たちはどう生きていくのかー障害者の地域自立生活と介助という営み」という本も出されている方です。

今、全国的に高齢者や障害者の介助や介護をする介助者が大変少なく、文福も今の介助職員では到底足りないという現状があります。それで、渡邊さんにそのことを含めて地域生活介助に関わるものはどう基本的に考えれば良いかまた障害者制度は高齢者の制度と違って特に意思疎通ができない重度障害者や重度の知的障害者などにとっても今のパーソナルアシスタント制度に移行しなくてはいけないのですが、その時や今の介助者の保障はどうあるべきかということも、話し合えたら話し合っていきたいと思っています。

地域社会で障害者が社会人として生きていくために文福以外の人々にも多くの参加を呼びかけたいと思いますので、何卒、宜しくお願い致します。

9:30 受付
 10:00 第15回NPO法人文福總會
 12:00 休憩
 13:15 講演会
 介助者（介護者）の夜明けは近いのか遠いのか？
 ～障害者の自立＝介助者（介護者）
 確保・ひろがり・定着～ 渡邊琢氏
 15:00 質疑応答

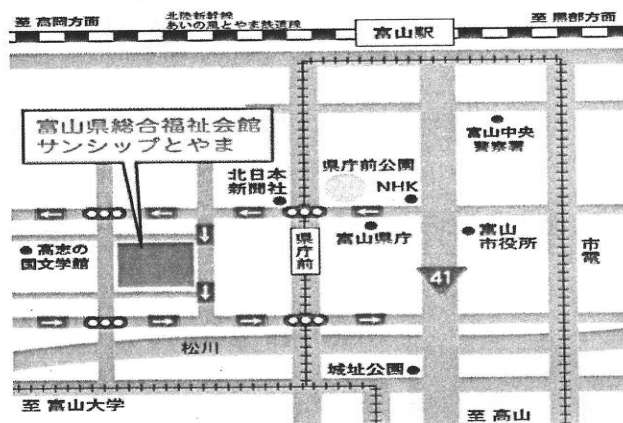
お問い合わせ先

NPO法人 文福

〒930-0887

富山市五福 3734-3

TEL 076-441-6106



サンシップとやま

〒930-0094 富山県富山市安住町5-21

TEL (076) 432-6141

●交通のご案内

電車: 富山駅から徒歩15分

市電: 富山駅から大学行き「県庁前」下車徒歩2分

(車の場合は駐車場がございます。)